

安全性試験、投与・採血用

| 手術基本情報

- **系統**：Crl:CD(SD)
- **性別**：雌雄
- **週齢**：雄：7-8週齢、雌：8週齢
- **手術時間**：15-20分
- **術後観察期間**：1日間
- **微生物グレード**：ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン SPF項目
- **麻酔薬**：ケタミン・キシラジン混合麻酔薬
- **鎮痛剤**：カルプロフェン 5mg/kg S.C. SID 手術当日のみ
- **抗生物質**：投与なし(必要に応じて投与)

| カテーテル情報

- **素材**：ポリウレタンチューブ Access Technologies/Norfolk Medical Products, Inc
- **型番 サイズ**：BC-3.5P ID:0.6mm/OD:1.1mm
- **ゲージサイズ**：22G
- **カテーテル先端形状**：スクエア、ラウンド
- **デッドボリューム**：約70 μ l (手術動物証明書に記載)
- **充填剤**：グリセリン・ヘパリンNa混合液

| 処置概要

1. 体重測定及び一般症状観察を実施後、ケタミン及びキシラジンを用いた混合麻酔薬を腹腔内に投与する。
2. 股部及び頸背部を除毛し、イソジン液及び70%エタノール液を用いて術野を消毒する。
3. 股部及び頸背部皮膚を切開後、腹位に動物を固定し、鑷子を用いて鈍性に股部の筋層を切開し、大腿静脈を剥離露出する。
4. 大腿静脈遠位側を結紮し、大腿静脈を切開し、カテーテルを挿入、結紮固定する。
5. カテーテル誘導管にてカテーテルを頸背部まで導き、クリップを用いて背部術創を縫合する。

※本書式に記載された術式は、ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社 手術グループ手順書「ラット 大腿静脈カニューレーション術」(承認No.967)の内容に準ずる。

飼育、取扱いについて

頸背部よりカテーテルが出ているため個別飼育をお願いします。カテーテルがケージトップに挟まる可能性がございますので、ケージトップが低いタイプは避けて飼育してください。

カテーテルのメンテナンスの為、最低5-7日に1回はフラッシングを実施してください。この期間以内でも血液の逆流が見られた場合はカテーテルの破損がないかを確認し、フラッシングを実施してください。

カテーテルのメンテナンス、採血、投与方法については別紙「カニュレーション動物の取扱い」をご参照ください。

配送情報

- **輸送箱**：プラスチッククレート
- **梱包形態**：仕切り板による個別梱包(1-3匹/クレート)



問合せ先

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社 〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-17-6 イノテックビル11F
TEL: 045(474)9340 Email: ask@jax.or.jp